

2024年  
11月4日(月・祝)16日(土)  
豊田市福祉センターにて  
上映決定!

後援:豊田市社会福祉協議会

日本語字幕付き

# 光る 校庭

ひと夏の出会いが、  
僕らを変えた。



梅垣 然太 笹木 祐良  
安達 祐実 光石 研 里園 侑希

桔河 芽りさ 榎原 徹士 岡崎 ゆう 矢部 翔琉 林 真白 生田 朱莉

脚本・監督 比嘉 一志

主題歌「描くヒカリ」大平伸正

企画・製作 One&be 共同製作 FULLFLASH

後援 とよたフィルムコミッション推進協議会(ムゲントヨタ)

共同プロデューサー 増田朋弥 松井悠理 助監督 葛西純 撮影 佐藤雅樹 撮影助手 慶田城波音 照明 志村幸也

録音 治田敏秀 録音助手 矢澤仁 衣裳 渡辺 崇也 メイク 井塚茅乃 加藤紗弥 中井南月 編集 板倉詩苑 車輛 関口諒 スチール 山本圭一

特別協賛 合同会社 SEIHA 尾関俊

# 人って、死ぬとどうなるの？



その問いに、まっすぐ向き合うことができますかー？  
大人にこそ届けたい、少年たちの物語。

コロナ禍の2021年に本作の脚本は執筆された。気が滅入るニュースやSNSでの誹謗中傷に心を痛めた監督・比嘉が、「こんな時代だからこそあたたかい物語を届けたい」という想いを少年たちの物語に込めた。

舞台は比嘉の故郷・愛知県豊田市。全編豊田市で撮影を敢行した。工業のまちとして知られる豊田市の新たな一面が、鮮やかに少年の夏を彩る。

## STORY

行方不明となったまま死亡とされてしまった父を持つ大場智哉は、小学5年生の夏に東京から母の実家へと移り住む。夫の死を未だ受け入れられていない母、しっかりものの姉と、明るい祖父との新生活が始まった。

転校先の小学校で智哉は、大病を患うクラスメイト・西川翼と出会う。

体の弱い翼を過剰なほど気づかう担任やクラスメイトたちに違和感を抱きつつも、

智哉は翼との距離を縮めていく。

そして、翼の存在が智哉にとっての死生観を刺激しはじめる。

愛知県豊田市を舞台に、2人の少年とそれぞれの家族の小さな前進があたたかく描かれるひと夏の物語。



<https://hikarukoutei.com/> @koutei\_movie @hikarukoutei\_movie

日時 11月4日(月・祝)  
11月16日(土)

午前の部：10時開場 10時30分開演  
午後の部：13時30分開場 14時開演

会場 豊田市福祉センター  
豊田市錦町1丁目1番地1

大人

前売券 1,100円/当日券 1,300円

子ども(小学生以上高校生まで)

前売券 800円/当日券 1,000円

親子券(大人1名+子ども1名)

前売券 1,500円/当日券 2,000円

・身体障がい者、療育、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は子ども料金と同額でご覧いただけます。付き添いの方1名まで親子券の利用が可能です。

・前売券はホームページ(<https://hikarukoutei.com/>)または豊田市社会福祉協議会にてお求めいただけます。

お問い合わせ:比嘉一志([info@hikagazushi.com](mailto:info@hikagazushi.com))/豊田市社会福祉協議会(0565-34-1131)



# 比嘉監督からメッセージを いただきました！！

今回の上映では日本語字幕を用意いたしました！  
今まで音が聞こえにくいということを理由に、映画鑑賞を諦めた経験のある方でも楽しんでいただきたいと思います。また、上映後には出演者の里園侑希さんと私が登壇いたします。手話による同時通訳をいたしますので最後まで楽しんでいただけるのではと思っています。



映画「光る校庭」  
比嘉一志監督

もちろんどなたでも楽しんでいただけますので、皆さまお誘いの上お越しくくださいますと幸いです。

足助病院さんには、コロナ禍の大変な時期にも関わらず、感染対策への知恵を絞りロケ地としてご協力いただきました。

『光る校庭』は足助病院さんで撮影しなければ、心に響く作品にならなかったのでは無いかと思います。

ぜひ院内の温かい雰囲気をごスクリーンでご覧ください。



## 降り注ぐ想いで人々の心を波立てたい！ ～足助病院ブランディングプロジェクト～

2022年夏に豊田市を舞台として比嘉一志監督により撮られた光る校庭、では“病気・死”という重いテーマをスクリーンから醸し出される素敵な情感と主人公を取り巻くキャストの所作・会話から滲み出る友情・信頼・愛情が包み込み、人間が必ず迎える死という終着点をひととしての通過点として見事に描かれています。

当院とこのプロジェクトとの関わりは“想う医療”を掲げ実践する足助病院職員の医療に対する姿勢の更なる醸成に大きな影響を与えてくれると共に、私自身の“降り注ぐ想いで人々の心を波立てたい”という想いと“足助病院ブランディングプロジェクト”の理念に見事に合致しています。

メイキングから関わりプライスレスな経験をした身として、「光る校庭」が皆様の心を温かく静かに波立てることを確信しています。



足助病院長  
小林真哉

【昨年の全国ロードショーに関わる院長のコラムはVol.439-442です。】